【指定期間最終年度用】

指定管理者の管理運営に関する評価シート
（評価対象期間：令和３年４月～令和７年３月）

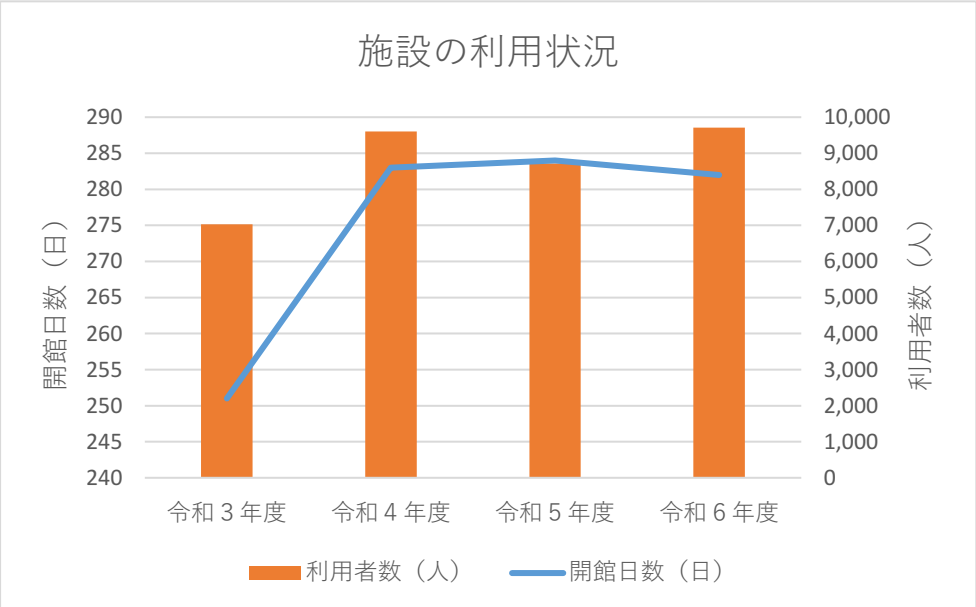
施設名	久喜市しずか学童クラブ
施設所管課	こども育成課
指定管理者（団体名）	特定非営利活動法人　ほほえみ放課後児童クラブ
指定期間	令和３年４月１日～令和８年３月３１日

1　事業運営、利用状況

事業計画に掲げた主な事業の実施状況	□	事業計画に掲げた事業は全て実施した（最終年度を除く）
	■	事業計画に掲げた事業のうち、一部が実施できなかった（最終年度を除く）
	理由	新型コロナウイルス感染症拡大時には、児童や保護者が集まる事業・イベントは密を避けるため中止した。

施設の利用状況	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
開館日数（日）	251	283	284	282
利用者数（人）	7,028	9,600	8,719	9,713

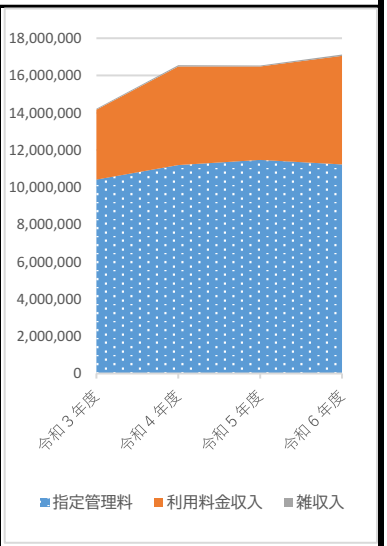
補足説明	
施設所管課の評価	・入退所の手続き及び保育料の徴収など必要な事務手続きを適切に行っている。 ・令和３年度から令和４年度は感染症拡大防止のため、児童や保護者が集まるイベント等を中止せざるを得なかったが、令和５年度から令和６年度は季節のイベントや誕生日会など児童からの要望が多いイベントを中心に事業を企画し、実施することができた。



2　収支状況

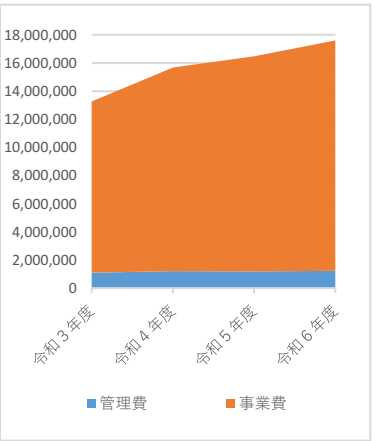
（１）収入状況（指定期間最終年度を除く）　　単位：円

項目	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
指定管理料	10,408,640	11,187,400	11,472,175	11,220,300
利用料金収入	3,759,510	5,301,000	5,011,750	5,836,250
雑収入	40,020	64,025	50,025	68,408
収入合計	14,208,170	16,552,425	16,533,950	17,124,958
補足説明				



（２）支出状況(指定期間最終年度を除く）　　単位：円

項目	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
管理費	1,098,186	1,201,478	1,189,916	1,229,864
事業費	12,172,666	14,479,984	15,273,344	16,367,038
支出合計	13,270,852	15,681,462	16,463,260	17,596,902
補足説明	令和6年度は人件費増の為			



収支差額	937,318	870,963	70,690	-471,944

施設所管課の評価	・令和６年度については、利用児童の増加に伴う利用料金収入が増加したものの、職員増員による人件費（事業費）の増加がそれを上回り、収支差額がマイナスとなったが、児童が安全に放課後を過ごせるよう支援員を増員したものであり、やむを得ないものであったと考える。 ・他の年度については、おおむね適正に収支の管理を行っている。

3　管理運営

施設の運営業務（維持管理業務）に関する評価	・日常的な施設設備や備品の安全管理及び共用部の清掃や消毒による衛生管理を徹底し、快適な保育環境を維持するとともに、遊具等を毎日点検することにより、安全確認を行い、支援員全員で施設の維持管理に努めている。	
指定管理者の提案による新規取組みとその実施状況	企画提案内容	
	企画提案内容の実施状況（最終年度での実施見込みも含む）	
	□	企画提案内容が予定通り実施された（最終年度での実施見込みも含む）
	■	随意指定のため企画提案はない
	□	企画提案内容が予定通り実施されていない
	理由	
指定管理者の提案による新規取組みとその実施状況に関する評価		
利用者満足度向上への取組みに関する評価	・送迎時や保護者会等で保護者との情報共有や意見交換を行いニーズを把握することにより、より良い運営に努めている。	

4　その他

情報提供・広報活動、個人情報保護、危機管理状況に関する評価	・情報提供・広報活動：随時入所説明会の案内や資料の配布をするなど、施設の周知に努めている。 ・個人情報保護：重要性について職員に周知し、情報の適正な管理するとともに、職員の守秘義務の徹底に努めている。 ・危機管理：緊急連絡網を整備するとともに、災害発生時を想定した避難訓練を実施し、安全確保に努めている。

5　総合評価

これまでの施設所管課の一次評価

評価年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
総合評価	B	B	B	B

施設所管課の一次評価	A□	事業計画等で掲げた水準等を上回り、かつ前年度実績を超える成果を達成し、優れた管理運営がなされている
	B■	事業計画等で定める業務が履行され、管理運営が適切になされている
	C□	事業計画等で定める水準等を一部が下回り、努力が必要である
	D□	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善を要する

施設所管課の判断理由

・利用者及び保護者等のニーズを理解し、積極的に事業運営に取り入れており、評価できる。
・施設の運営業務、維持管理業務等、全般にわたり適切に実施されている。
・外部での研修に積極的に参加するなど、支援員の資質の向上に努めている。
・月１回のおたよりの発行や送迎時の声かけにより、保護者等への報告・周知に努めている。
・危機管理について、緊急連絡網を整備し、支援員や関係機関と連携を図っている。また、保護者等への一斉メールで通知するシステムを整え、緊急時に備えている。
　以上を踏まえ、放課後児童健全育成事業の目的に沿って適正に管理・運営されていると判断した。

これまでの公の施設管理運営検討委員会の二次評価

評価年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
総合評価	B	B	B	B

公の施設管理運営検討委員会の二次評価	A□	事業計画等で掲げた水準等を上回り、かつ前年度実績を超える成果を達成し、優れた管理運営がなされている
	B■	事業計画等で定める業務が履行され、管理運営が適切になされている
	C□	事業計画等で定める水準等を一部が下回り、努力が必要である
	D□	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善を要する

公の施設管理運営検討委員会の意見

・令和３年度及び令和４年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、児童や保護者が集まるイベント等を中止したが、令和５年度からは、季節のイベントや誕生日会など児童からの要望が多いイベントを中心に事業を企画し、実施している。
・利用者及び保護者等のニーズを理解し、積極的に事業運営に取り入れており、施設の目的に沿って適正に管理・運営されている。
・児童数の増加により職員を増員し、結果として赤字になったことはやむを得ないところもあるが、常に収入と支出のバランスを取りながら経費の抑制に努めてもらいたい。